蛇足

楚に祠る者有り。其の舎人に卮酒を賜ふ。
楚の国に祭りをつかさどる者がいた。（その人が）自分の従者たちに大杯の酒をふるまった。

舎人相謂ひて曰はく、
従者たちが相談し合って言うことには、

「数人之を飲まば足らず、一人にて之を飲まば余り有り。
数人でこれを飲めば足りず、一人でこれを飲めばあまりあるほどだ。

請ふ地に画きて蛇を為し、先づ成らん者酒を飲まん。」と。
地面に蛇を描き、最初に描き上げた者が酒を飲むことにしよう

一人、蛇先づ成る。酒を引きて①且に之を飲まんとす。
酒を引き寄せ

乃ち左手に卮を持ち、右手に蛇を画きて曰はく、
そして左手に杯を持ち、右手で蛇を描いて言うことには、

「吾能く之が足を為さん。」と。
おれは足を描くこともできるぞ

未だ成らざるに、一人の蛇成る。其の卮を奪ひて曰はく、
まだ足を描き終わらないうちに、（他の）一人の蛇ができた。

「蛇固より足無し。子②安くんぞ能く之が足を為さん。」と。
蛇はもともと足は無い。あなたはどうして蛇の足を描くことができようか。

遂に其の酒を飲む。蛇足を為す者、終に其の酒を亡へり。
そのままその酒を飲んでしまった。

（『戦国策』）

『戦国策』と「蛇足」

『戦国策』は中国の戦国時代の策略を国別に収めた書。「蛇足」は、陳軫という人物が、魏に勝利しさらに斉へ攻め込もうとする楚の将・昭陽を思いとどまらせるためにしたたとえ話である。

重要語句

曰はく	言うことには
能く……	……することができる
未だ……（ず）	まだ……（ない）
子	①子ども ②男性の尊称 ③あなた
安くんぞ……	どうして……か（いや、……ない）

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ——線①「且に之を飲まんとす」の意味を選びなさい。

ア　今にも酒を飲もうとした
イ　そのまま酒を飲みだした
ウ　酒をすっかり飲んでしまった

〔　　〕

(2) ——線②「安くんぞ能く之が足を為さん」とあるが、これは何を言おうとしているのか。適当なものを選びなさい。

ア　蛇の足は描くのが難しいということ。
イ　蛇の足を描けるとはすばらしいということ。
ウ　蛇の足など描けるはずがないということ。

〔　　〕

(3) 本文の内容に合うものを選びなさい。

ア　ふるまわれた酒は、数人で飲んでもあまりあるほどだった。
イ　最初に蛇を描き上げた者は、酒を飲むことができなかった。
ウ　蛇足を描いた者は、他の者から酒の杯を奪い取った。

〔　　〕

(4) 次のA〜Dの故事成語の意味を、それぞれ選びなさい。

A　蛇足〔　　〕
B　漁夫の利〔　　〕
C　五十歩百歩〔　　〕
D　背水の陣〔　　〕

ア　両者が争うすきに、第三者が利益を横取りすること。
イ　わずかな違いはあるが、本質的には同じであること。
ウ　余計なもの。しなくていいことをしてだめにすること。
エ　一歩も引くことができない立場で、全力で事に当たること。